

☆ 戦略的基盤技術高度化支援事業の採択について ☆

(財)奈良県中小企業支援センターが事業管理者となり、奈良県と協力して推進している下記の産学官共同研究開発のプロジェクト1件が、経済産業省の実施する「平成23年度戦略的基盤技術高度化支援事業」(通称:サポイン)に採択されました。

同事業の提案については、平成20年度に1件、平成21年度補正予算事業で2件、平成22年度に5件(うち補正予算事業1件)が採択されたところであり、今回あらたに1件が採択されました。(23年度分事業費、45百万円)

今回、全国では120件のプロジェクト(申請652件、採択率約5.43倍、うち、近畿経済産業局管内では27件)が採択されました。

■平成23年度 採択された研究開発テーマは下記のとおりです。

☆事業管理者:(財)奈良県中小企業支援センター

・超低粘度液状樹脂を用いた金型・成形加工技術の確立と高機能製品の開発

※平成22年度までに採択された研究開発テーマ

(いずれも、事業管理者は(財)奈良県中小企業支援センター)

■平成20年度

・顔料分散型薄膜太陽電池高性能化と量産技術開発

■平成21年度(補正予算事業)

・ニッケルめっき鋼板を用いた次世代リチウムイオン二次電池ケースの一体プレス成形技術の開発
・難削材の高精度加工技術の開発

■平成22年度

・高張力鋼板による防爆安全弁付大容量Liイオン2次電池缶の成形技術の開発
・難削材の高精度加工技術の開発
・工具保持精度1 μ m以内の焼ばめホルダの開発と微細切削加工技術の確立
・イメージ分光方式を用いた超高速全面膜厚測定技術の開発

■平成22年度(補正予算事業)

・シリコンウエハーの固定砥粒ワイヤーソー切断油の開発

<参考>戦略的基盤技術高度化支援事業(経済産業省所管)とは

「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」に基づく支援策の一環として、同法により「研究開発等計画」の認定を受けた中小企業者が国からの委託を受け、モノ作り基盤技術の高度化に資する革新的かつハイリスクな研究開発を行うもの。

●研究開発テーマ

「超低粘度液状樹脂を用いた金型・成形加工技術の確立と高機能製品の開発」

○研究開発の概要

スマートフォン・家電等の薄型化と高機能化を図るために、光学分野ではレンズ等を高精度化した開発競争力の強化が急務である。その取組として耐熱・耐候性に優れた新素材である超低粘度液状樹脂をガラス材等の代替材とすることが、部材の高機能化・省エネ化において有用である。それらの実用化のために、樹脂成形金型の精密加工技術を高度化し、成形品の複雑・微細形状化による高機能化に関する研究開発を行う。

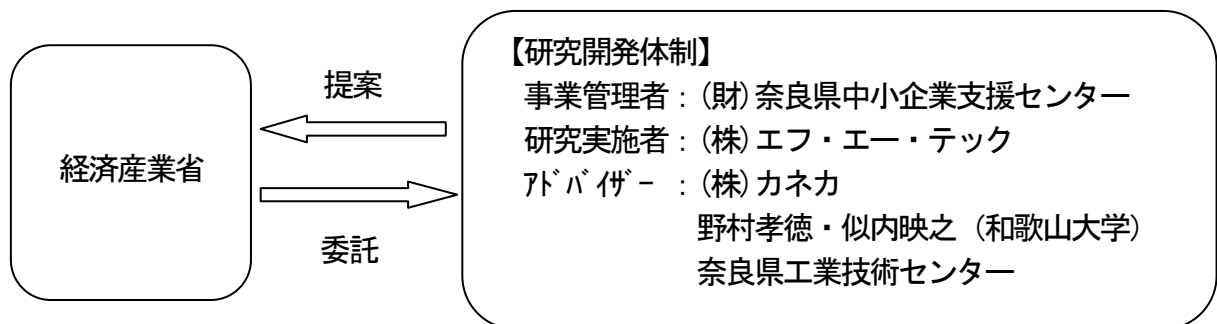
○研究期間

平成25年3月末まで

○事業費（予定）

約450万円（平成23年度）

○事業スキーム



研究内容の詳細については、下記にお問い合わせ下さい。

(株)エフ・エー・テック

品質保証部長 奥野 広昭

TEL 0747-25-1140